

# 総合政策部 人権政策課

## 1 学校における人権教育の推進

(1) 米子市いじめ問題検証委員会及び米子市日吉津村中学校組合いじめ問題検証委員会の設置

平成26年7月1日より設置 再調査件数0件

(2) その他

ア 人権の花運動 住吉・加茂・河崎・尚徳小学校

## 2 社会における人権教育の推進

(1) 市民啓発

ア 中学校区人権問題講演会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ 社会教育指導者養成

(ア) P T A 人権教育研修会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(イ) 人権教育地区推進員研修講座 年1回開催（米子市人権教育地区推進員58人を対象）

ウ 中学校区社会・学校人権教育関係者連絡協議会 11中学校区

エ 社会教育団体の研修

オ 社会教育振興事業

カ 人権教育地域懇談会開催 市内18地区の米子市地区人権・同和教育推進協議会に委託し実施  
30回開催 495人参加

キ 広報誌に掲載 広報よなご「ヒューマンライツ～みんながしあわせな社会をめざして」  
年12回

人権問題啓発誌「心ゆたかに」 年2回

(2) 企業啓発

人権教育推進員を派遣し、企業等に対し人権問題に関する講演や研修体制の指導・助言を行い人権問題啓発を行った。

ア 講演実施回数 延べ 6回

(3) 社会を明るくする運動

ア のぼり旗の掲出 7月の強調期間中、市内各公民館と市役所周辺にのぼり旗を掲出し、社会を明るくする運動の意義を啓発した。

イ 作文コンテスト 小・中学生を対象に犯罪や非行のない地域社会づくりなどに関して考え、感じたことを作文にすることを通じて、本運動に対する理解を深めてもらうことを目的として実施した。

ウ その他 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、推進委員会は書面開催、開始式は中止

(4) 新型コロナウイルス感染症に関する人権啓発

ア 「新型コロナウイルスに関する人権侵害を防ぐ、3つの宣言」  
ポスター・チラシの作成及び啓発物品（ポケットティッシュ・缶バッジ）を配布

イ 「マスクをつけることができません」カード

事情によりマスクをつけられない人がいることを理解していただくためのカードを作成し、市役所本庁舎ほか6個所で配布

### 3 人権情報センター

#### (1) 利用環境

- ア フィールドワークの受入れ 14件
- イ 図書資料蔵書総数 5,133冊
- ウ 啓発ビデオ・DVD所蔵総数 490本

#### (2) 人権に関する情報の収集

- ア 収集・購入した図書資料 21冊
- イ 収集・購入した啓発DVD 11枚
- ウ 県内外の人権啓発機関誌・資料等

#### (3) 人権に関する情報の提供

- ア 「よなごの人権フォーラム‘20」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- イ 「市民向け人権学習講座」の開催  
期 日 令和2年9月～10月（計2回）  
参加者 計41人  
演題及び講師  
第1回 拉致問題の解決に向けて 松本 孟 氏  
第2回 人と人とのよりよい人間関係をつくるために 米子人権擁護委員協議会 人権擁護委員
- ウ 人権情報センター機関紙「ひゅーまんらいつ」発行（年12号）
- エ パネル展の開催  
ハンセン病啓発パネル展 令和2年6月15日～26日（米子市人権情報センター）  
部落解放月間パネル展 令和2年7月10日～8月9日（米子市人権情報センター）
- オ 企画展の開催  
企画展 2020夏のじんけんギャラリー 令和2年7月29日～8月19日  
「新型コロナウイルス禍のいま、人権を考える」ほか（米子市立図書館2階展示ギャラリー）

### 4 推進団体の育成支援

#### (1) 米子市人権・同和教育推進協議会

- ア 米子市補助金 1,314,865円
- イ 主な事業  
(ア) 第46回米子市人権・同和教育研究集会 ヒューマンライツフェスティバル  
オンライン配信（令和3年2月12日～3月22日）及び動画上映会（3月23日ほか3回）  
テーマ 「みんなで差別をなくし幸せな社会を実現しよう」  
記念講演 『IT（情報技術）革命の進化と新たな人権課題  
ー新型コロナウイルス感染症問題もふまえてー』  
講師 北口 末広 氏  
シンポジウム 『どうする部落問題学習？どうすすめる人権啓発！』  
江嶋 修作 氏・川口 泰司 氏・坂田 愛梨 氏・坂田 かおり 氏  
講演 『原点回帰 ～人権がなければ保育／教育ではない～』  
講師 勝山 結夢 氏  
講演 『パパは女子高校生だった～自分らしく生きること～』

講師 前田 良 氏

オンライン視聴回数及び上映会参加人数 延べ 1, 0 1 2 人

(イ) 研修会、研究集会派遣事業

第 4 5 回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会「特別講座」参加

期日等 令和 2 年 1 0 月 2 0 日（米子コンベンションセンター多目的ホール）

(ウ) 研究委託事業

部会名	事業名	備 考
就学前教育部会	就学前人権・同和教育研究委託※	保育園等に研究委託
学校教育部会	中学校区人権・同和教育研究委託	市内 1 1 中学校区
社会教育部会	広報発行委託※	人権・同和教育広報紙発行 9 地区同推協
	P T A 研究委託※	2 中学校区 P T A に人権・同和教育研究委託

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(エ) 同和地区学習会

2 小学校、2 中学校 指導者 延べ 1 5 9 人

目 的 同和地区児童生徒の社会的立場の自覚を深めるとともに、未来への明るい展望を持ち、差別の悪循環を断ち切るために必要な力を育成する。

(2) 米子市人権問題企業連絡会

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けて、企業がその社会的責任の重要性を自覚し、自らの問題として主体的、自主的に取り組んでいくことを目的として平成 8 年 1 1 月に設立された「米子市人権問題企業連絡会」に対する補助金の交付等事業支援を行った。

ア 米子市補助金 2 5 1, 7 6 0 円

イ 会 員 数 7 0 社（令和 3 年 3 月 3 1 日現在）

ウ 主な事業内容 定期総会、幹事会、トップ・担当者研修会、新規採用者研修会、人権問題研修会、県内外の各種集会・研修会への参加

（※新型コロナウイルス感染拡大防止のため定期総会及び幹事会は書面開催、新規採用者研修会及び人権問題研修会は中止）

5 同和対策関係

(1) 隣保館事業

福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、生活上の各種相談や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行った。

ア 啓発・広報活動（隣保館講座の開催、隣保館だより（ふくりん通信）の発行等）

イ 相談事業（生活上の相談や人権に関わる相談への助言、指導）

ウ 地域交流事業（各種教養講座、学校や P T A との交流会の開催等）

エ 地域福祉事業（健康講座、高齢者料理教室の開催等）

オ 識字・日本語教室（外国出身の方を対象とした日本語読み書き教室） 受講生 実績なし

(2) 地区会館運営事業

隣保館事業に準じた事業を行い、地域住民の福祉の向上を図った。

(3) 米子市同和対策進学奨励金の給付

市内に住所を有する同和地区関係者で、大学、専修学校等に進学する能力を有しながら経済的に修学が困難な者に対して、進学奨励金（月額18,000円）を給付した。

ア 受給者数 大学2人

イ 給付額 432,000円

(4) 同和地区高校生夏季研修会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(5) 住宅新築資金等貸付事業に係る貸付金の償還事業

昭和41年度から平成8年度にかけて行った住宅改修資金、宅地取得資金、住宅新築資金貸付事業の償還事務を行った。

(6) 差別事象への対応

差別事象発生時には迅速かつ適切な対応を行うこととしている。

(7) 米子市同和事業推進協議会への支援

市内の同和地区関係者によって組織された同協議会が行う、同和問題の早期解決及び同和地区住民の社会的地位の向上を図るために実施する事業について支援した。

米子市補助金 1,170,000円

## 6 拉致問題関係

北朝鮮による拉致被害者として政府認定された松本京子さんのほか、市内では、古都瑞子さん、矢倉富康さんが消息不明で拉致された疑いが持たれている。拉致問題の早期解決に向け、世論を盛り上げるための市民啓発や国への要望活動を行った。

(1) 拉致問題啓発パネル展の開催（2回）

第1回 令和2年10月20日～26日

（米子市福祉保健総合センター ふれあいの里1階パブリックスペース）

第2回 令和2年12月8日～17日

（米子市福祉保健総合センター ふれあいの里1階パブリックスペース）

(2) 「拉致問題の早期解決を願う国民のつどいin米子」開催

令和2年11月3日 米子コンベンションセンター多目的ホール 参加者 約300人

(3) 国への要望

ア 令和2年7月15日 藤原内閣府大臣政務官へ要望書を手交

イ 令和2年11月3日 三ッ林内閣府副大臣へ要望書を手交

(4) 拉致被害者等の帰国支援体制共通マニュアルに基づいた帰国時対応の図上訓練を実施

鳥取県など関係機関とともに令和2年7月8日に実施した。

(5) 拉致問題啓発舞台劇公演「めぐみへの誓いー奪還ー」の開催

令和2年10月2日（米子コンベンションセンター 多目的ホール） 参加者 約300人